

(参考) 関係機関への意見照会（現状と課題）とりまとめ結果

○市町村芸術文化団体会長会議（7月）

- ・芸術文化団体の担い手の高齢化が進んでいる。**文化の継承者の育成**が課題。
- ・一般の人は**練習場所、活動資金がない**。文化に**広がりが**ないので**街中での展開も必要**。
- ・少子高齢化による学校の統廃合で伝統芸能がなくなっている。担い手確保が課題。
- ・学校の働き方改革で、学校単位の文化部活動には限界も。**文化に触れる機会が減少**。

○中核的文化芸術団体（8月～）

- ・文化芸術団体の**発表の場を確保できない**。
- ・文化芸術を鑑賞する層も高齢化している。青少年が**文化に触れる機会が必要**。
- ・文化ホールや美術館を運営する側の**人材確保が課題**。
- ・東京を追いかけるだけでは、芸術文化の地域偏在は解消しない。**ここ山形から創造、発信**していくことが大事だ。
- ・文化芸術に触れる機会の少ない**県民への発信・交流が大事**。

○山形県文化推進委員会（9月）

- ・**デジタル技術を活用したアート**など新たな取組みが進んでいる。資金調達にも活用できる。
- ・定年延長で60代も働き、文化をけん引する世代がない。**若い人に繋がらない**。
- ・県の特色ある文化が広がった背景は県の支援が大きい。**民間でも推進する仕組みが必要**。
- ・コロナの影響で閉塞感があり文化企画が必要な人に届かない。**情報発信が必要**。
- ・**デジタル技術を活用したプロジェクションマッピング**が増えた。**地域の人を巻きむとよい**。
- ・コロナでインバウンドが戻ってきている。多言語化が進んだが英語人材が少ない。
- ・障がい者や高齢者など、**多様な人が文化に触れる機会**が必要。
- ・総合文化芸術館で山形の芸術文化が大きく変わった。「山形で見れる」プラスの反面、アマチュア団体の**発表場所が少ない、人が入らない**しわ寄せが起きている。文化は継続した取組みも大事。
- ・先日の文化事業に多くの方が参加した。**掘り起こすと参加したい層がある**のでは。

○各市町村文化行政所管課（11月）

- ・伝統工芸等の**継承者の育成**と確保に向けた**コーディネートや助成が必要**。
- ・伝統文化の**担い手の確保、発表機会の創出**や団体の強化が必要。
- ・文化財の所有者・管理者が高齢化し、保護・保存が難しくなっている。
- ・文化財の保存に関する**市民の理解が低く**、評価がないまま解体等が進んでいる。**市民に対する意識改革が必要**。
- ・少ない人口で地域文化を守っている。**地域文化を資源と認識し活用するまちづくりや地域づくり**が必要。
- ・文化財の保全活動や文化施設の企画展の**積極的な広報、PR**が必要。
- ・**文化に関する情報が県民に届いていない**と感じる。県、市町村関係施設や団体で対策をとっていく必要がある。県内文化施設の**情報発信における広域連携強化**。